

『先人未踏』

誰も成し遂げられなかったことをしたい。
そのエネルギーが、人間を支える。

人がやらないことをしよう。



PSPED BITS

『ネット政治の幕開け』

8月2日、国土交通省は新たに10の地域で車のご当地ナンバープレートを導入すると発表した。来年度中には東京都内で「世田谷」や「杉並」ナンバーを目にする事になりそうだ。「富士山」ナンバーで話題になったご当地ナンバーの第一弾は7年前。地域振興や観光振興を期待して導入したわけだが、経済効果は如何ほどだったのだろうか。

一つひとつの政策には賛成する人も反対する人もいる。今回のご当地ナンバーでは、反対住民が「世田谷」ナンバー反対で提訴していた。賛成派の意見にも反対派の意見にも理解できる点があるから、何かを変えるには、反対派がある程度納得できる仕組みが必要になる。それが政治だ。

ネット選挙運動が解禁されて初めての選挙が行われた。結果は与党の圧勝で幕を閉じたが、幕を開けたばかりのネット選挙の評価は様々だ。

若者の投票率の向上が期待されていただけに、過去3番目に低い投票率では不発と評価されても仕方がない。低投票率が高い組織基盤をもつ政党に味方した格好だが、実は強い組織基盤はネット選挙にも有利に働く。ネットの強みは双方向性だから、あらかじめ相手が多い方がネットの利点を活かしやすい。メールアドレスしたという訳だ。

ところで、私は「ネット選挙」という言葉が嫌いだ。理由は2つ。まず、ネットで投票できないのにネット選挙と呼ぶのは如何なものか。そして、ネットは選挙プロモーションだけでなく、日頃の政治にもっと活用するべきだと思うからだ。

新聞やテレビのように日々流れていく情報と、辞典のように体系的に整理されていく情報があるとして、インターネットは日頃の政治の情報を体系的に整理しながら、民主政治の祭典たる選挙に活用される辞典の役割を果たさなければならぬ。ネット選挙運動解禁はネット政治の幕を開けたのだ。



佐谷宣昭 Nobuaki Satani

1972年生まれ。九州大学工学部建築学科卒業。2000年九州大学大学院人間環境学専攻博士課程修了、博士(人間環境学)。翌月起業。株式会社パイブドビッツ社長CEO。明日の豊かな情報生活に貢献したいとの想いから、「情報資産の銀行」の必要性を説く。官公庁や都市銀行、小売業など3067の事業者向け情報資産プラットフォーム「スパイラル(R)」を提供中。

株式会社パイブドビッツ
東京都港区赤坂2丁目9番11号
03-5575-6601(代表) <http://www.pi-pe.co.jp/>